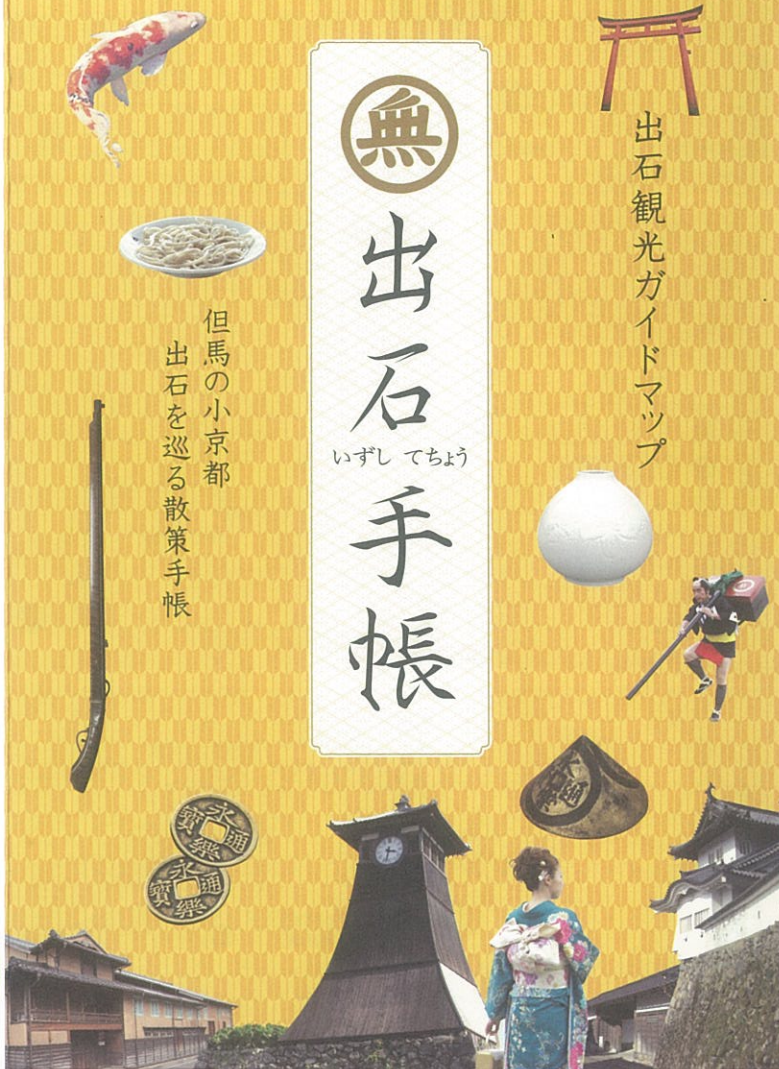




出石手帳

いずし てちよう

但馬の小京都
出石を巡る散策手帳



ACCESS

お車・観光バス	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪・神戸・京都から【約3時間】 ○姫路から【約2時間】
J R	<ul style="list-style-type: none"> ○京都から特急で【約2時間30分】 JR山陰本線にて「豊岡駅」[「江原駅」]「八鹿駅」下車。全バス、出石行きで約30分。 ○大阪から特急で【約2時間30分】 JR福知山線にて「豊岡駅」[「江原駅」]「八鹿駅」下車。全バス、出石行きで約30分。
飛行機	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪空港からコウトリ但馬空港まで【約35分】 空港から全バスで豊岡駅まで【約15分】 出石行きバス乗り換え【約30分】

NPO法人 但馬国出石観光協会
〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-4806 <http://www.izushi.co.jp>

株式会社 出石まちづくり公社
〒668-0214 兵庫県豊岡市出石町内町104-7
TEL.0796-52-6045 <http://www.izushi-tmo.com>

携帯サイト
アクセス

さまざまな歴史的ドラマを生んだ五万八千石の城下町

但馬開発の祖神「天日槍(あめのひばこ)」がこの地を拓いたとされ、古くは「古事記」「日本書紀」にも登場する出石。室町時代には、山名氏が此隅山城を構え但馬の中心として繁栄しました。その後、有子山城、出石城と城が変わり、領主も変わっていく中で、沢庵和尚や桂小五郎、加藤弘之、齋藤隆夫など、歴史的に有名な人物とも深く関わりを持つ城下町となっています。街のあちこちにドラマチックな歴史の足跡が残る出石の街を、ゆっくりと散策しながらお楽しみ下さい。

1 出石城跡

出石城は慶長九年(二六〇四)、小出吉英により築かれた城で、当時の城域は東西約400m南北約350mあったとされています。明治元年に建物は全て取り壊されましたが、現在では隅櫓や登城橋登城門が建築されています。

出石皿そば

挽きたて、打ちたて、茹がきたて 伝統の「三たて」が美味しさのヒミツ。

出石皿そばのルーツは、宝永三年(二七〇六)に出石藩主松平氏と信州上田藩主仙石氏がお国替えになった時に始まります。その際、仙石氏と共に信州から来たそば職人の技法が在来のそば打ちの技術に加えられ、出石そばが誕生しました。その後、出石焼が始まり、白地の小皿に盛る様式が確立されました。小皿に盛りつけた独特のスタイルで食べる出石皿そばは、挽きたて、打ちたて、茹がきたてと、伝統の「三たて」で作られ、そばの美味しさを存分に楽しんで頂けます。

そば打ち体験
血そばの本場出石で、自分で打つ本格そばの味は最高の思い出。

血そば巡り
店によって違う血そばの味を3店分ご賞味いただける「出石皿そば巡り市巻セット」も好評発売中。
[問・販売]いずし観光センター ☎0796-52-4960

4 豊岡市立美術館 伊藤清永記念館

出石出身の洋画家、伊藤清永の初期の代表作「磯人」「I夫人像」(後期の代表作「裸婦像」等を常設展として展示。絵画や愛用の画材も展示しています。

9時30分～17時(最終入館16時30分) 大人500円、高大学生300円、小・中学生無料
水曜日・年末年始 展示替期間中

9 おりゅう灯笼

江戸時代、交通運輸に利用された旧出石川の大橋東詰にあつた船着場の灯笼です。現在は常夜灯として使用されています。

9時30分～17時(最終入館16時30分) 大人300円、高大学生200円、小・中学生無料
火曜日・年末年始 展示替期間中

3 有子山城跡

此隅山城が落城した後、新たな城として天正二年(一五七四)に山名祐豊が有子山山頂に建てた城。標高が321mあり、その眺望は素晴らしい。時期によっては雲海も見下ろせます。

出石焼

透き通る様な伝統工芸品

透き通るような白を特徴とする白磁。出石焼は、柿谷陶石と呼ばれる純白の原料を使って焼かれ、その神秘的なまでの白さは他に例を見ないほどです。

出石皿そば協同組合 / www.izushi.jp/sarasoba/

5 加藤弘之生家

加藤弘之は、ドイツ文学の先駆者で、日本の大学制度導入の基礎づくりに貢献した人物。初代東京大学「総理」を務めました。

10時～15時 無料
休 日曜、祝日のみ開館、年末年始は休館

10 出石史料館

明治時代の豪商福富家の旧邸を史料館として改装し、出石藩ゆかりの史料を中心に展示しています。館内には仙石騒動や藩政の記録をはじめ、江戸時代を中心に古代から近代までの出石の歴史を紹介しています。

9時30分～17時(最終入館16時30分) 大人300円、高大学生200円、小・中学生無料
火曜日・年末年始 展示替期間中

11 見性寺(けんしやうじ)

出石の街の西北に建つ曹洞宗のお寺。境内隅に櫓のような構造物があり、城下における岩の役割を担っていました。

11時～15時

12 出石歴史文化交流館

下級武士(足軽)の住居、武家長屋を利用した資料館。建物内を見学できます。

11時～15時

7 宗鏡寺(すきやうじ)

山名氏の菩提寺として創建された宗鏡寺は、永らく荒廃していましたが、元和二年(一六二二)、沢庵和尚により再興されました。通称、沢庵寺とも呼ばれ、沢庵和尚が造つた名園は県指定文化財にもなっています。

300円

13 出石永楽館

出石永楽館は、明治三十四年に開館した近畿最古の芝居小屋です。平成二十二年に四十四年の時を経て蘇りました。歌舞伎など興行の無い日は、一般公開され、廻り舞台や奈落など、舞台裏も見学できます。

9時30分～17時(最終入館16時30分) 大人300円、学生200円、小・中学生以下無料
木曜日・年末年始 展示替期間中

14 出石神社

但馬の宮神社として但馬開発の祖神、天日槍(あめのひばこ)と八種の宝が祀られています。「古事記」「日本書紀」にも名を連ねる山陰有数の大社です。五月五日には、節句祭「織まわし」と呼ばれる地区内を賑わす行事が行われます。

16 辰鼓楼(しんころう)

辰鼓楼は、明治四年(一八七二)旧三の丸大手門脇の櫓台に、時刻を知らせる大鼓を叩く櫓として建設されました。明治十四年に医師、池口忠恕氏が大時計を寄贈してからは、日本最古の時計台として親しまれています。

絵付け体験
出石焼に絵付けの体験ができる製陶所もあります。旅の思い出にしてください。

8 出石酒造酒蔵

深い味わいを見せる赤い土壁造りの酒蔵。現在も地酒「楽々鶴」を販売しています。

15 静思堂

齋藤隆夫記念館

肅軍演説を行い、軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」と言われた政治家 齋藤隆夫の威徳を偲ぶため建てられた記念館です。

15 静思堂

齋藤隆夫記念館

肅軍演説を行い、軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」と言われた政治家 齋藤隆夫の威徳を偲ぶため建てられた記念館です。

15 静思堂

齋藤隆夫記念館

肅軍演説を行い、軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」と言われた政治家 齋藤隆夫の威徳を偲ぶため建てられた記念館です。